

生産現場の声をもとに作られた汎用性の高い肥料。「増産」の願いをかなえる肥料です。

(株)サンダリン太陽園の新規取扱肥料

# 「緑のぞうさん」

この度、(株)サンダリン太陽園では、今後の肥料販売戦略の核となる、多木化学株式会社の有機化成肥料「緑のぞうさん」を新発売することになりました。このユニークな名称は、農家さんに象さんのように大きく増産してほしいという願いをかけて命名しました。パッケージも、これまでの肥料にはないメルヘンチックなものに仕上がっています。農家さんに、親しみとインパクトを与えてくれることは間違いなくと思います。特徴があるのは、パッケージだけではありません。内容的にも様々な優れた効果をもった肥料です。名称と同様に増産が期待できる肥料です。今後、北海道全域でたくさんぞうさんが見られることを願っています。

## 特長

どのような作物にも適した成分バランス

含有成分は表1の通り、8・13・8の山型となっています。どのような作物にも使いやすい成分バランスとしています。また、微量元素も豊富に含まれていますので、何年使っても養分の過不足が出にくく、安心して使用していただけます。

有機十酸の効果で安定した肥効

有機含有量の多い肥料は肥効が持続する反面、低温期には肥効が悪い欠点がある。

あります。

有機は微生物が分解し作物が吸収される形になります。微生物は温度が高くと活発に働きますが、低いと極端に鈍ります。低温期に効きが悪いのはこのためです。特に北海道は春先地温が低いため、初期肥効が高い肥料が必要となります。「緑のぞうさん」の有機は単なる有機ではなく、酸を混合していますので、低温期でも比較的早く吸収されます。

カルシウムにより健康で病気に強くなる

副成分としてカルシウムを約10%含んでいます。このカルシウム(硫酸カルシウム)は大変水に溶けやすく作物に吸収されます。作物体内で、カルシウムは細胞壁に集積し作物を丈夫にします。カルシウムの効いた作物は、葉が立ち健康的で病気などからも強くなります。

葉緑素(苦土)の増加で光合成アップ

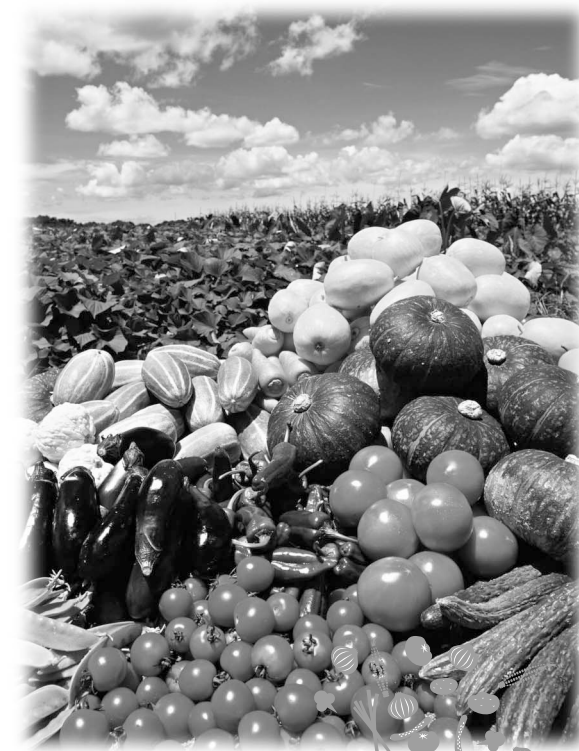
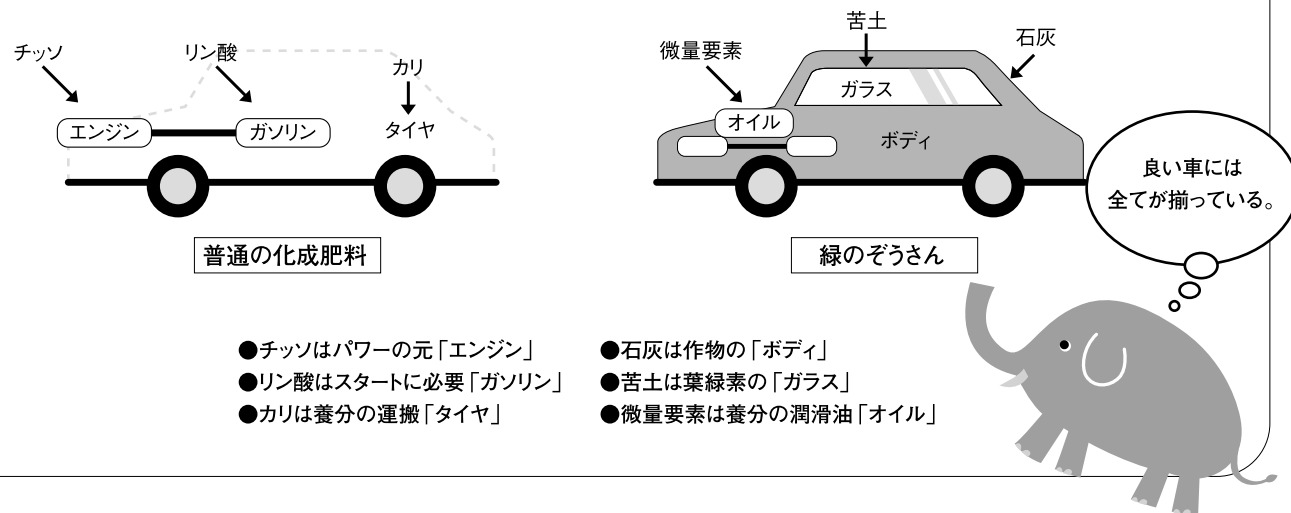
光合成が行われる葉緑素は、チッソと苦土で構成されています。「緑のぞうさん」には、3%の苦土を保證しています。これにより、葉緑素が増え光合成が活発になります。また、苦土はリン酸との相性が良く、相乗作用によりリン酸の吸収を助けます。



表1 緑のぞうさんの保証成分(%)

チッソ	リン酸	カリ	苦土	ホウ素	マンガン
8	13	8	3	0.2	0.05

車と養分の比較(普通の化成肥料と緑のぞうさん)



施肥の基準

作物名	施肥量 (kg/10a)	作物名	施肥量 (kg/10a)
トマト	100	ブロッコリー	160
キュウリ	240	キャベツ	160
ピーマン	240	タマネギ	200
スイカ	120	ホウレンソウ	160
メロン	100	ニンジン	160
カボチャ	100	ダイコン	160
スイートコーン	180	ジャガイモ	200

※地域にあわせ適宜加減してください。



多木化学株式会社